

## 材料分析研究コア(元素分析)の研究支援に対する「謝辞」について

論文などに謝辞を記載する場合は、「東北大学金属材料研究所材料分析研究コア (Analytical Research Core for Advanced Materials, Institute for Materials Research, Tohoku University)」の名称と担当した技術職員等の個人名の明記をお願いします。以下、参考例です。

例.

- (1) Thanks are due to Mr./Ms./Dr. ○○ (Analytical Research Core for Advanced Materials, Institute for Materials Research, Tohoku University) for chemical analysis.
- (2) The author is indebted to Mr./Ms./Dr. ○○ (Analytical Research Core for Advanced Materials, Institute for Materials Research, Tohoku University) for ICP-AES analysis.
- (3) ICP 発光分析について、東北大学金属材料研究所材料分析研究コアの○○氏による技術支援に感謝します。

謝辞の有無に関わらず、報告した分析データを含む投稿論文が掲載された際には、DOI などの情報<sup>(\*)</sup>を連絡下されれば幸いです。今後の研究支援に活かして参ります。

<sup>(\*)</sup> 本文へのアクセスのためです。オープンアクセスでない、あるいは包括契約対象外で pay-per-view が必要な論文などは、別刷等の提供をお願いできると助かります。